施策評価シート

1 基本情報

他課においても同一施策で事業を実施しています。1/4

年度 23 取り組み事項	子育て支援サービスを充実する			担当部課名	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		市民環境部市民語		
施 策 名 (大)	大切な命を社会全体で守り育むまちづくり	担	当部長	河上 克彦	
施 策 名 (中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる	担	当課長	岩崎 徹博	
育児をしている保護者が気軽に悩みを共有できる子育ての仲間をつくり、心理的な負担が軽減されるよう拠点を整すべての子育て家庭が必要な支援を受けられるようサービスの充実を図るとともに、閉じこもりがちな保護者への働きをします。 また、ゆとりを持って子育てができるよう医療費や妊婦健康診査費の助成などを通じて、経済的負担の軽減を図り					

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標	
7日 1宗 1口		21年度	22年度	23年度	27年度	32年度
1人当りの母子家庭等医療費助成	円	24,363	28,421	26,126	27,430	28,800
1人当りの乳幼児等医療費助成	円	26,054	29,398	30,695	32,230	33,840
1人当りのこども医療費助成	円	0	130	15,838	16,630	17,460

[★]がつけられている指標は、基本計画に記載している「めざそう値」となります。

3 施策に対する投入資源

投		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)
入	事業費	巴	64,744,070	73,615,988	95,711,975	115,290,000
資	人件費	円	4,947,318	5,193,771	7,468,057	7,882,740
源	合 計	円	69,691,388	78,809,759	103,180,032	123,172,740

4 施等評価

4. 心泉計圖				
	評 価 判 定		判 定 理 由 及 び 課 題 等	
①目標の達成状況	0	◎ 概ね順調に推移している	 子育て応援施策の一つの柱として、子育て世代の経済	
		〇 一定程度進展している	丁肯で心張旭泉の一つの柱として、丁肯で回れの程度 的な負担を緩和するために、中学生以下のこどもの医	
		△ 少しは進展している	療費を無料化した。	
		▲ 進展していない	一次 兵 と がいて 100/こ。	
②社会情勢の反映・有効性	0	◎ 有効に対応できている	受診する機会の多い中学生以下のこどもに係る医療費	
		〇 情報把握に努めている	を助成し、子育て世代の経済的負担を軽減することで、	
		△ あまり対応できていない	子育て支援に役立った。また、今後社会情勢や市民	
		▲ 有効に対応できていない	ニーズの把握に努め、サービスの向上を図っていく。	
③構成事務事業の妥当性	0	◎ 効率的な構成である		
		O 改善が必要な事業がある(1事業)	子育て世代の医療費に関する不安は大きいことから、	
		△ 改善が必要な事業がある(複数)	大変効果的な事業である。	
		▲ 構成自体に問題がある		
	0	◎ 効率的に進めている	償還払いを改め、現物給付とすることで、受給者の利	
④業務方法の効率性		〇 改善等の余地が一部ある	便性と業務の効率性を図ることができた。さらに、今	
		△ 改善等の余地が大きい	後、システム改修により、事務の効率化を図っていきた	
		▲ 抜本的な改善等が必要である	ر، د	
⑤施策の総合評価	А	A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	受診する機会の多い中学生以下のこどもに係る医療費の助成は、子育て世代の経済的負担の軽減につながることから、今後も事業を継続していく。	

【成里】

医療機関での受診頻度の高い乳幼児等及びこどもに対し、子育ての医療助成事業として、1人あたり約80,000円の助成を行うことで、経済的な負担を軽減し、子育てをしやすい環境を整えることができた。

5 施策の推進に向けた今後の対応

第三者評価 委員会意見 個々の事業を勘案すると、妥当性については一定の評価ができるが、 施策内で重点的に取り組むべき事業等を明確にし、取組みに対して優先 順位をつけるべきである。

子育て応援都市宣言を行い、進んでいる市の方向性の中で、市が行う べき分野であるということを積極的にアピールするべきである。 既存事務事 業及び新規事 業の方向性

子育て支援施策の一つの柱として、こども医療費の無料化は今後も継続していく。

6 構成事務事業 投入資源(円) 妥 当 (単位) 事業費 人件費 指標名 事務事業名 進 NO 22年度 22年度 捗 性 22年度 23年度 24年度 23年度 23年度 事業開始年度 実績 実績 24年度 24年度 目標 1人当りの母子家庭等医 円 13,897,991 2,130,543 母子家庭等医療費給付事業 療助成 10,894,684 2,156,621 5 28,421 28,000 14,560,000 2,360,532 26,126 1人当りの乳幼児等医療円 59,501,556 2,377,536 乳幼児等医療費助成事業 助成 62,310,320 2,235,571 5 5 29,398 30,695 33,709 68,430,000 2,360,532 1人当りのこども医療費 216,441 685,692 こども医療費助成事業 3 22,348,111 2,346,101 助成 5 5 20,000 30,000,000 2,413,522 130 15,838 1人当りの自立支援等医 自立支援等医療費助成事業 158,860 4 療費助成 729,764 5 5 79,310 2,300,000 11,347 748,154 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18